



最初、手を水でぬらし、石鹸をまんべんなく手に広げて泡立てる。

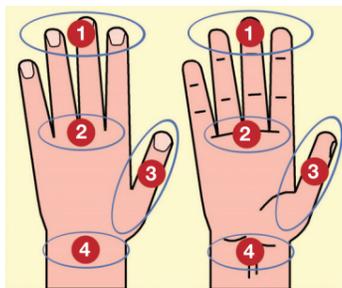
正しい手洗い方法

正しい手洗い方法

正しい手洗いは、感染防止の基本です！

手洗いは正しい手順で実施しないと、洗い残し部位が出てしまいます。意識的に正しい手順で手洗いを実施しましょう。

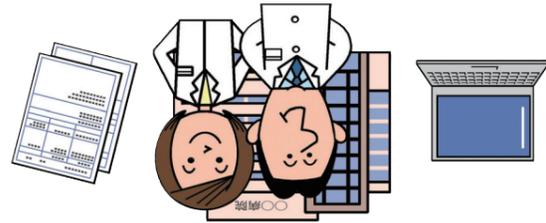
【汚れが残りやすいところ】



- 1 指先
- 2 指の間
- 3 親指の周り
- 4 手首

- **手を洗ったあとは……**
洗った手が水にぬれたままだと、ウイルスや細菌が手に付着しやすい状態になります。使い捨てのペーパータオル等でよくふきとりましょう。
- **ディスポ手袋を使用した後は……**
手袋を外したら、必ず手を洗いましょう。

- 患者さんの個人情報、患者さんの同意を得て、適切な医療を提供するために必要な範囲で利用をしています。
 - 病院は、個人情報をなくしたり、漏れることのないように、安全管理をしています。
- ※個人情報とは、個人を特定することができるので、氏名・生年月日・住所などが該当します。



- 医療の現場では、患者さんの個人情報を含む様々な情報やノウハウに関する情報を取り扱っています。
- 病院は、患者さんの個人情報(氏名・生年月日・住所など)を適切に取り扱う義務があります。

個人情報の保護

個人情報の保護

こんなときどうする？

面会者に患者さんの病室を聞かれた……

- 患者さんの許可を得ないで、面会者に病室を教えることはできません。面会受付や総合案内などにご案内しましょう。



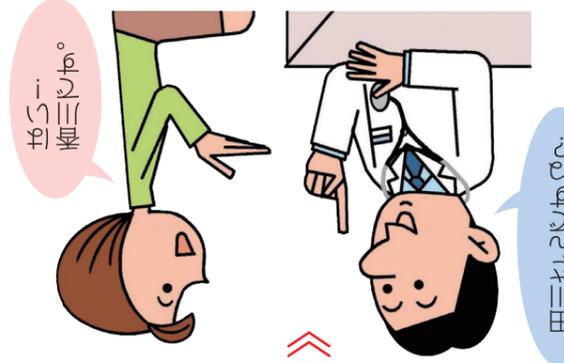
患者さんの氏名が書かれたメモが落ちていた……

- 患者さんの氏名は個人情報なので、取り扱いに注意が必要です。ゴミ箱などに廃棄しないで必ず当該部署の責任者に渡しましょう。



職員同士でも、廊下やエレベータなどで患者さんを話題にしないようにしましょう。

- 自分のお名前を言える患者さんには、**お名前を名乗っていただくこと**で間違いを防ぐことができます。
- 名乗っていただいたお名前と、IDカード・カルテに記載されているお名前を**照合**します。



このように、名前を呼びかけるだけでは、危険です！

聞き間違いは、誰にでもあります。

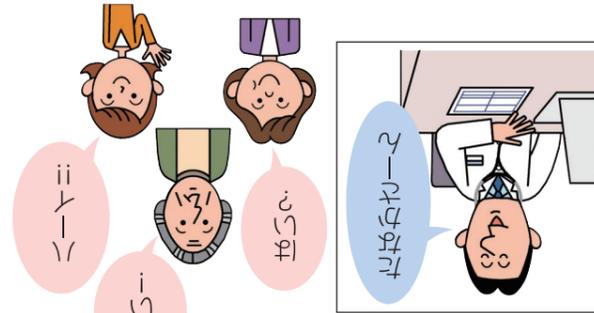
患者さんの確認方法

ノート

インシデント報告の運用について、研修会参加の記録など

氏名:

● 患者さんのお名前は**フルネーム(姓名)**で確認しましょう。



たとえば、こんなことか……

たさんの患者さんが来院されますので同姓や似た名前の方々も多くなります。

患者さんに何かを渡すとき、患者さんを案内するときには、**確実な確認が必要**です！

患者さんの確認方法

委託職員向け

安全ポケット



- 正しい手洗い方法04
- 針刺し事故の防止06
- 患者さんの確認方法08
- 転倒・転落を防ぐために10
- 個人情報の保護12
- その他14

目次

針刺し事故の防止

～ 針刺し後の対応方法 ～

針刺し後は、すぐに流水で洗い流すことが重要です！

医療現場で使用された針などを誤って刺してしまった場合、肝炎ウイルスなどの感染のリスクをもたらす可能性があります。

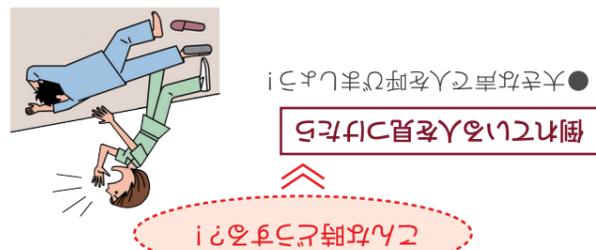
針を刺してしまったら……

針を刺した部位を確認し、流水で傷口を十分に洗い流す

当該部署の責任者に報告する指示に従い、受診し採血をする



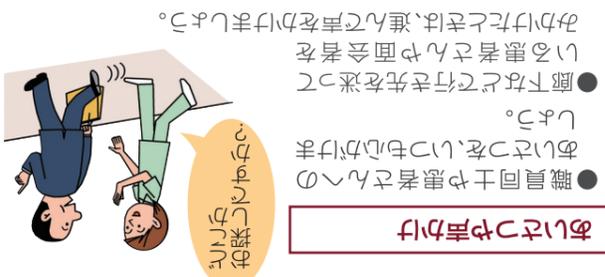
- 針刺し後は、迅速な対応が必要です。
- 針刺しの状況を把握するための報告書がある場合は、上記の処置が終了したら記載します。



倒れている人を見つけたら

こんな時どうする？

● 大きな声で人を呼びましょう！



あいさつや声かけ

● 職員同士や患者さんへのあいさつを、いつも心がけましょう。

● 廊下などで行き先を迷っている患者さんや面会者を見かけたときは、進んで声をかけましょう。

名札をつけましょう

● 所属と氏名がはっきり見えるように名札をつけましょう。

防犯面でも重要なこと！

その他

転倒・転落を防ぐために

後ろからの声かけ

● 点滴をしている患者さんや歩行器を使っている患者さんの後ろから声をかけると、振り向く際にバランスをくずしてしまい転んでしまうことがあります。患者さんの正面に回って、声をかけるようにしましょう。



車椅子を使うとき

● 車椅子で患者さんの移動を行なうとき、一時停止する場合があります。その場合でも、必ず車椅子のストッパーをかけましょう。
● ストッパーをかけておかないと、少しの傾斜でも車椅子が動き、危険です。



ベッド柵のこと

● 患者さんのケアをするときに、ベッド柵を一時的に外すことがあります。患者さんから目を離す場合は、少しの間でも必ずベッド柵をもどしましょう。
● 患者さんに背を向けて作業をしているほんの短い間に、患者さんがベッドから落ちてしまった事例などが報告されていますので、注意しましょう。



困ったときの連絡先

転倒・転落を防ぐために

転倒や転落は思わぬ大けがにつながり、場合によっては生命に関わることもあります！

こんなことに注意しましょう！

床や廊下の水濡れ

● 少しの水でも床や廊下にあると、すべりやすく危険です。病院内の床や廊下が濡れていたら、すぐに拭き取りましょう。



廊下の曲がり角に注意

● 廊下の曲がり角は、出会い頭の衝突などが起こりやすく、転倒の危険が高い場所です。曲がり角はゆっくり歩き、安全確認をしましょう。



安全を守るために

*「医療安全ポータルシステム」は、安全な医療の提供のために必要な情報を掲載しています。

をしましょう。

ための貴重な情報です。報告のルールに従って報告すれば、小さなことでも病院の安全な仕組みを作るシフト)を経験することがあるかもしれません。なかつたけれど、「リカバリ、はっと」するでこと(イン)

ください。

このポータルシステムをいつも携帯して役立てて下さい。病院のルールを理解して遵守する必要があります。すべてのスタッフの安全に関する知識を高め、また自身の安全を守るためには、職種や立場に関わらず、が業務を行っています。患者さんの安全と、皆さん

針刺し事故の防止

～ 針刺し事故を起こさないための工夫 ～

ゴミ箱の中は危険がいっぱい！

● 一般ゴミの中に、針がまざれていることがあります。いっぱいになったゴミ箱に手を入れてゴミを押し込む行為は危険です。

